

平成29年度各地区会議事業計画（案）

地区会議名	事業名	開催時期・場所	地区会議事務局
北海道	- 第1回地区会議運営協議会 - 第2回地区会議運営協議会 - 学術講演会及び科学者との懇談会 - 第3回地区会議運営協議会 - サイエンスカフェ - 地区会議ニュースの発行（No. 48）	平成29年 4～5月（北海道大学） 7月以降（同上） 下半期（同上） 下半期（同上） 平成30年 3月（三省堂書店札幌店） 3月	北海道大学 （研究推進部企画課）
東北	- 第1回地区会議運営協議会 - 学術講演会及び科学者との懇談会 - 第2回地区会議運営協議会 - 地区会議ニュースの発行（No. 32）	平成29年 10～12月（東北大学） 10～12月（同上） 平成30年 2～3月（同上） 3月	東北大学 （研究推進部研究推進課）
中部	- 第1回地区会議運営協議会及び学術講演会 - 地区会議ニュースの発行（No. 143） - 第2回地区会議運営協議会及び学術講演会 - 地区会議ニュースの発行（No. 144）	平成29年 7月7日（信州大学） 10月 11～12月（名古屋大学） 平成30年 3月	名古屋大学 （研究協力部研究支援課）
近畿	- 学術講演会（1～2回） - 地区会議運営協議会及び学術文化懇談会 - 地区会議ニュースの発行（No. 27）	平成29年 8月以降（開催地未定） 平成30年 2～3月（京都大学） 3月	京都大学 （研究推進部研究推進課）
中国・四国	- 第1回地区会議運営協議会 - 第2回地区会議運営協議会及び学術講演会 - 地区会議ニュースの発行（No. 49） - 第3回地区会議運営協議会	平成29年 4～5月（広島大学霞キャンパス） 11月18日（徳島大学） 平成30年 1月 3月（広島大学霞キャンパス）	広島大学 （学術・社会産学連携室研究企画室）
九州・沖縄	- 第1回地区会議運営協議会 - 第1回科学者との懇談会及び学術講演会 - 第2回科学者との懇談会及び学術講演会 - 第2回地区会議運営協議会 - 地区会議ニュースの発行（No. 116）	平成29年 5月（書面回議） 8月24日（木）（佐賀大学） 下半期（長崎大学） 平成30年 3月（書面回議） 3月	九州大学 （企画部研究推進課）

補欠の連携会員の選任の要望について

○提案内容

死亡により退任した岩間伸之連携会員（第 23-24 期）について、後任者の選任を行うこととし、推薦を行う部を決定することとしたい。

（参考）

- 補欠の連携会員の選考手続について（平成 21 年 10 月 1 日第 82 回幹事会決定）（抄）
 - 1 退任する連携会員の専門分野に係る部は、幹事会に対して補欠の連携会員の選任を別紙様式 1 により要望することができる。
 - 2 幹事会は、前項の要望について審議し、必要があると認めるときは、補欠の連携会員の候補者（以下「候補者」という。）の推薦を依頼する部を決定する。
 - 3 会長は、幹事会の決定を受けて当該部に対し、候補者の推薦を依頼する。

要望書
(補欠連携会員候補者関係)

<別紙様式1>

平成29年3月29日

日本学術会議会長 大西 隆 殿

第一部長 杉田 敦

死亡により退任した岩間伸之連携会員の後任者の補充について、下記の理由により必要であるので、補欠の連携会員の選任を行うよう要望します。

記

岩間伸之連携会員の死亡（平成29年3月2日）により、社会学分野の連携会員が不足し、社会学委員会及び社会福祉学分科会において、十分な審議が困難になったため。

提案3は報告のため、資料5－別添2、
提案4は国際案件のため、資料5本紙をご参照ください。

公開シンポジウム「社会調査をめぐる諸問題とその解決策」（仮題）
の開催について

1. 主 催：日本学術会議社会学委員会社会統計調査アーカイヴ分科会
2. 共 催：一般社団法人社会調査協会
3. 日 時：平成 29 年 5 月 20 日（土）14：30～17：00
4. 場 所：茗溪会館（〒112-0012 東京都文京区大塚 1-5-23）
5. 分科会の開催：開催予定
6. 開催趣旨：社会統計調査アーカイヴ分科会では、現代社会における社会調査をめぐる問題点を検討し、それに対する方策について議論を重ねてきた。本公開シンポジウムでは、問題関心を共有する社会調査協会と共催する形で、本分科会の議論の成果を一般市民に向けて発信する。
7. 次 第：
 - 14：30 開会のあいさつおよびシンポジウムの趣旨説明
佐藤 嘉倫（日本学術会議連携会員、東北大学大学院文学研究科教授）
 - 14：35 社会調査の環境の変化と回収率の低下（仮題）
岩井 紀子（日本学術会議連携会員、大阪商業大学総合経営学部教授）
 - 15:00 政策形成に役立つ社会調査とは一地方自治体が実施している社会調査の現状と課題（仮題）
大谷 信介（日本学術会議連携会員、関西学院大学社会学部教授）
 - 15：25 ネット調査の興隆とその問題点と課題
石井 クンツ 昌子（日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系教授）
 - 15：50－16：00 （ 休憩 ）
 - 16：00 社会調査と研究者とのかかわり（仮題）
稲葉 昭英（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学文学部教授）
 - 16：25 社会調査をめぐる諸問題に対する方策（仮題）
盛山 和夫（日本学術会議連携会員、日本学術振興会学術システム研究センター副所長）
 - 16：35 質疑応答
（司会）青柳 みどり（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人国立環境研

研究所社会環境システム研究センター主席研究員)

16 : 55 閉会のあいさつ

青柳 みどり (日本学術会議連携会員、国立研究開発法人国立環境研究所社会
環境システム研究センター主席研究員)

17 : 00 閉会

8. 関係部の承認の有無：第一部承認

(下線の講演者は、主催分科会委員)

日本学術会議中部地区会議主催学術講演会
「学術の最前線と私たちの社会」の開催について

1. 主 催：日本学術会議中部地区会議

2. 共 催：信州大学

3. 日 時：平成 29 年 7 月 7 日（金）13:00～16:00

4. 場 所：信州大学理学部 C 棟 2 階大会議室（長野県松本市旭 3-1-1）

5. 開催趣旨：

信州大学は、知のフロンティアを切り拓き、自然との共存のもとに人類社会の持続的発展を目指した独創的研究を推進している。本講演会では、その最前線で活躍する信州大学の研究者を中心に、今、何を課題とし、何を社会に発信する必要があるのか、人文科学と生命科学の両分野からの具体的な報告を踏まえ、認識を新たにしたい。

6. 次 第：

司会進行 西村 直子（日本学術会議連携会員、信州大学経法学部応用経済学科教授）

(1) 開会挨拶

13:00～13:10 濱田 州博（信州大学長）

(2) 主催者挨拶

13:10～13:20 高橋 雅英（日本学術会議第二部会員・中部地区会議代表幹事、名古屋大学理事・副総長、名古屋大学大学院医学系研究科教授）

(3) 科学者との懇談会活動報告

13:20～13:30 中部地区科学者懇談会会員から報告（報告者調整中）

(4) 講演

13:30～15:55

・演題未定

大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

・「だまされる心の心理学：思い込みや迷信を生む心のシステム」

菊池 聡（信州大学人文学部人文学科教授）

・「幹細胞の解析と畜産，自然保護：生命工学的な解析が持つ意義」

鏡味 裕（信州大学農学部農学生命科学科教授）

(5) 閉会挨拶

16:00～ 西村 直子（日本学術会議連携会員、信州大学経法学部応用経済学科教授）

（下線のある登壇者は、日本学術会議会員又は連携会員）

日本学術会議九州・沖縄地区会議主催学術講演会
「明治維新 150 年～幕末・維新时期における佐賀藩の「ひとづくり」「ものづくり」
(仮題) の開催について

1. 主 催： 日本学術会議九州・沖縄地区会議
2. 共 催： 佐賀大学
3. 後 援： 佐賀県、佐賀市
4. 日 時： 平成 29 年 8 月 24 日（木）14:00～16:10
5. 場 所： 佐賀大学本庄キャンパス理工学部 6 号館 1 階講義室
(佐賀県佐賀市本庄町 1)
6. 開催趣旨： 幕末・維新时期における佐賀藩は、国内のみならず世界に誇れる高い技術力を持ち、優秀な人材を多く抱え、日本の近代化をリードした。平成 30 年（2018 年）に明治維新 150 年を迎えるにあたり、当時の佐賀藩の最先端の技術力等を紹介し、社会の改革に及ぼした先進的な技術等について講演する。
7. 次 第：

司会進行 門出 政則（日本学術会議連携会員、佐賀大学理事）

 - (1) 開会挨拶

14:00～14:05 大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

14:05～14:10 宮崎 耕治（佐賀大学学長）
 - (2) 講演

14:10～16:00
(詳細調整中) 講演者（佐賀大学教授等）2～3 名による開催趣旨に沿った講演を実施
 - (3) 閉会挨拶

16:00～16:10 古谷野 潔（日本学術会議第二部会員・九州・沖縄地区会議代表幹事、九州大学大学院歯学研究院教授）
(下線のある登壇者は、日本学術会議会員又は連携会員)

提案 8 は後援名義のため、資料 5 本紙をご参照ください。